

# 公立大学協会

一般社団法人公立大学協会ニュースレター Vol.7/No.3

2013年2月22日発行（通刊第28号）

【発行責任者】奥野 武俊（一般社団法人公立大学協会会長／大阪府立大学長）

【編集責任者】中田 晃（一般社団法人公立大学協会事務局長）

〒105-0003 東京都港区西新橋1-6-13 虎ノ門吉荒ビル9F

TEL(03)3501-3336 FAX(03)3501-3337

E-mail: jimuu@kodaikyo.jp URL: http://www.kodaikyo.org/



## 高大接続特別部会の審議状況に見る大学入試改革

公立大学協会副会長／第1委員会委員長 近藤 倫明(北九州市立大学長)

平成24年8月28日、中央教育審議会の下に高大接続特別部会が設置されました。この部会は、中央教育審議会答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～」を受けたものです。特別部会の所掌事務は、大学入学者選抜の改善をはじめとする高等学校教育と大学教育の円滑な接続と連携の強化のための方策について調査審議すること、と極めて大きなそして重要なテーマが定められています。この部会はおよそ1年をかけて今秋、諮問への答申を策定します。

### 高等教育と初等中等教育の連携

第1回の特別部会は9月28日に開催され、大学、高等学校、教育委員会、PTA、経済界、教育関連NPO法人等多様な分野の委員が一堂に会しました。会議冒頭に安西祐一郎部会長、そして板東久美子高等教育局長、布村幸彦初等中等教育局長の挨拶があり、この部会に寄せる期待と意気込み、裏を返せばこの国の教育、人材育成に待たなしの状況と緊張感の表れが感じられました。会議に高等教育局長と初等中等教育局長が同席することがニュースになるほどこれまで両者間の連携がなされてこなかったことにも、驚きをもって気づかされました。

### 高校生の学力把握に関する提案

第2回の部会（10/31）では、「高

等教育のグローバル化と大学入試」、「探求型学習と大学入試」の2件の発表を受けて議論が行われました。前者は現状のいちかばちかの大学入試から、日々の学習診断のテストへの移行を展望するもので、入試選抜から参加許可型への可能性を未来志向のものとする提案でした。後者は高校で養うべき基礎学力を複数回の受験が可能な共通テストで評価し、グレードでの習得状況を把握すること、さらに大学入試では、基礎学力を踏まえた活用能力と学習意欲を把握する問題や面接などの必要性が高校現場から提案されました。議論では、現行の大学入試センター試験に限界があることが多くの委員の認識として意見交換がなされました。

### 大学入試センターが新試験を検討

第3回の部会（11/30）では、「汎用的能力の育成と評価について」、「大学入試センター試験の現状」の2件の発表を受けて議論が行われました。前者は中学・高等学校での少人数教育の事例報告を通して適応的学習能力が身につくことを示し、今後さらなる実践例の集積と評価方法の確立が必要なが報告されました。後者は、これまでの経験に基づき、新しい試験として推薦・AO入試に識別力のある試験などを開発することなどが報告されました。大学入試センターが今後も入学者選抜の任を負うことを前提に見直しがなされてい



近藤倫明副会長  
(こんどう・みちあき)

北九州市立大学文学部長、副学長、評価室長等を経て、平成23年4月より現職。専門領域は心理学。文学博士。平成24年8月より中教審高大接続特別部会委員。

ることが示されました。この審議で、より一層関係部会等との情報交換、全体像の調整が必要なことを痛感しました。

### 入試方法と入学後の成績に関する報告

第4回の部会（12/17）では、AO入試、推薦入試について、文科省からの現状説明の後、岡山大学、愛知淑徳大学から報告がありました。国公立大学は一般入試が中心で、私立大学はおよそ半数の学生がAO、推薦入試で入学している現状が報告されました。入学後の成績にも私学において差が明らかであることが示され、改めて高校の基礎学力の評価の必要性が確認されました。

これまで開催された部会では、高校、大学等の関係者から報告を受け、諮問内容を検討する上での問題・課題を明らかにしています。高校教育の質保証とその把握をどのように評価するのか？大学入学への資格をどのように評価・制度化するのか？さらに両者をどのように関連づけるのか？平成25年にはより具体的な審議が展開されます。

## 第2回・第3回高等教育改革フォーラム開催報告

今年度、認証評価制度の調査・検討が、公立大学の質保証に関する特別委員会（以下、特別委員会）において行われています。検討の経緯は地区協議会や学長会議で報告し、その方向性について議論を深めると同時に、高等教育改革フォーラム（以下、フォーラム）を実施し、公立大学関係者だけでなく、設置団体や他の大学団体、認証評価機関の専門家と問題を共有してきました。

前号で紹介した第1回のフォーラムに続き、その後に開催された第2回・第3回のフォーラムについて報告いたします。

\* \* \*

第2回は「法人評価との一体的運用」、第3回は「大学ポートレートの整備による認証評価制度の改革」と切り口を変えながら開催しました。特別委員会からは、評価制度上の課題を整理した資料をその都度提供するとともに、大阪府立大学の評価結果をもとに簡素なフォーマットによる評価報告書の見本を作成し、参加者に示しました。

第2回フォーラムでは、2つの公立大学から、認証評価の実施時期を

調整することで評価結果を法人評価に反映させた事例や、年報等での情報公開により評価作業を簡素化させた事例について報告がありました。また、名古屋大学評価企画室副室長・栗本英和教授からは、組織は決められた範囲を個別に対処する縦割り型であるのに対し評価業務は複数の部署にまたがる横断型であるために、体系的な視点からの作業が行われず評価疲れが起こりやすいという指摘がありました。評価を包括して担当しつつ全学的なPDCAサイクルの一部を回す部署を設置した同大学の事例をご報告いただくと同時に、組織や作業工程の改善によって、2つの評価における重複感が緩和される可能性が示唆されました。



栗本教授からは「評価を行う前には、関係者でその目的と方針を共有しておくことが大切」とのコメントがありました（第2回フォーラムにて）。

第3回は、読売新聞・松本美奈記者から、「大学の實力」調査において情報を公開したことで明らかになった問題点を学内で解決する過程が、結果的に教育改革に結びついた事例が報告され、情報公開には大学改革を推進する作用があることが参加者間で共有されました。



浅田副会長からは、第3回大学ポートレート（仮称）準備委員会の概要（発言要旨）が報告されました（第3回フォーラムにて）。

また、両フォーラムにおけるディスカッションでは、法人評価と認証評価の結果を相互に活用できる方策の検討や、公立大学関係者による評価を通じたコミュニティなどを求める声が聞かれる一方で、公立大学による評価コミュニティは仲間うちのものと評されないか、シンプルな評価書は歓迎だが認証評価に耐えうるのか、などの懸念も挙げられましたが、別の議論の場では、公立大学関係者であればこそ、その特性を踏まえた評価ができるのではないかとという意見も挙げられています。

このフォーラムでは大学運営を実際に担う方々にも加わっていただきながら議論を深めております。アンケート結果の「一つ一つの大学が教育研究のコミュニティとして高い質をもち、地域コミュニティとつながっていくという方向も大切にして考えていきたい」などの意見にもみられるように、フォーラム参加を通して大学改革を組織全体として進めていく気運が高まってきたことが感じられました。

第4回フォーラムは、公立大学の地域貢献・地域連携機能の充実とその評価のあり方をテーマとして開催を予定しています。

### プログラム（敬称略）

■第2回高等教育改革フォーラム（第1回副学長等協議会・併会）

「公立大学にふさわしい認証評価の在り方 — 法人評価との一体的運用を視野に —」

10月11日（木）10:30～16:30

メルパルク東京（5階・瑞雲）

#### ○報告

①認証評価及び公立大学法人評価の運用の現状と課題

浅田尚紀副会長、近藤倫明副会長

②評価の「見える化」の試み

公立大学の質保証に関する特別委員会

#### ○講演

①「評価制度の抜本的改革」が目指すもの～国際通用性の担保、アウトカム評価等を中心に～  
文部科学省高等教育企画課 秋山卓也 大学評価専門官

②大学組織における評価・企画機能の役割と質の保証システムについて

名古屋大学評価企画室副室長 栗本英和 教授

#### ○フォーラム

司会：清原正義 兵庫県立大学長

■第3回高等教育改革フォーラム

「大学ポートレートと認証評価」

12月7日（金）14:00～17:00

東京グランドホテル（3階・桜の間）

#### ○講演

①大学ポートレートの意義と展望

田中聡明 文部科学省高等教育企画課高等教育政策室長

②報道機関としての大学情報調査の経験

松本美奈 読売新聞記者（「大学の實力」担当）

#### ○報告

公立大学の説明責任を果たすための評価のあり方

公立大学の質保証に関する特別委員会

#### ○パネルディスカッション

パネリスト：田中聡明 高等教育政策室長

松本美奈 記者

浅田尚紀 副会長（大学ポートレート（仮称）準備委員会委員）

司会：清原正義 兵庫県立大学長

# 平成 24 年度学長会議 報告

11月8日(木)・9日(金)、静岡県立大学にて、平成 24 年度学長会議が開催されました。

初日の全体会議では、木苗副会長の挨拶の後、奥野会長及び文部科学省・池田貴城大学振興課長からの報告があり、公立はこだて未来大学・田柳恵美子特任教授から「公立大学の使命とCOC」を講演いただきました。また、公立大学の質保証に関する特別委員会から、評価に関するこれまでの検討状況が報告されました。

その後、別室でワークショップを行っていた24大学47名の学生が会場に加わり、特別シンポジウム「被災地支援や地域防災に果たす大学と学生の役割」が開催されました。復興支援ボランティアでの学修成果を



踏まえ、学長と学生が「COC 拠点」としての公立大学の役割について議論しました。学生からも、公立大学の全国大会開催を求めるなど積極的な提案がありました。「公立大学生が行う防災活動が各地域の防災拠点になれば、公立大学がまさにCOCの役割の一つを果たすことになるのではないか」との発言でシンポジウムが締めくくられました。

翌日は、「公立大学のCOC機能強化の取組み」をテーマとし、3つの分科会で各大学の事例紹介や意見交換が行われた後、全体会議が行われました。全体会議では、大学ポートレートの検討状況に関する報告が浅田副会長から、また、公立大学の男女共同参画についての報告が静岡県立大学・犬塚協太教授からありました。会議の結びには、「公立大学の使命の明確化による機能の充実について」及び「自ら行う質保証の取組みを通じた公立大学の機能の充実につ

いて」を盛り込んだ平成 24 年度学長会議決議が採択されました。

\* \* \*

## プログラム (敬称略)

■ 11月8日(木)

### 全体会議

○活動報告 奥野武俊会長

○報告

①大学改革実行プランについて

文部科学省 池田貴城大学振興課長

②公立大学の使命とCOC

公立はこだて未来大学 田柳恵美子特任教授

③公立大学の質保証に関する特別委員会報告

奥野武俊委員長

### 特別シンポジウム

○学生発表 ○ディスカッション

■ 11月9日(金)

### 分科会

テーマ「公立大学のCOC機能強化の取組み」

A: 市立・公立大学 司会: 近藤倫明副会長

B: 都道県立大学(東日本) 司会: 木苗直秀副会長

C: 府県立大学(西日本) 司会: 奥野武俊会長

### 全体会議

○報告

①大学ポートレートの検討状況

浅田尚紀副会長

②公立大学の男女共同参画について

静岡県立大学 犬塚協太教授

○協議

## 第2回副学長等協議会

12月7日(金) 東京グランドホテル

第2回副学長等協議会は、「入学者選抜の課題」をテーマに開催されました(出席者数87名)。文部科学省・平野誠大学入試室長から大学入学者選抜に係る動向について講演があった後、中教審・高大接続特別部会委員の近藤倫明副会長から同部会の審議状況について、また柴田洋三郎福岡県立大学長から大学入試の現状と課題について報告がありました。

続いて、木苗直秀副会長の司会進行で会員校からあらかじめ提出された協議希望事項に沿い、大学入試センター試験の課題や大学入試改革と高校・大学教育の質的転換、公立大学の入試における課題等について協議が行われました。

## 事務局長等連絡協議会

12月6日(木) 東京グランドホテル

平成 24 年度事務局長等連絡協議会には、83名の事務局長等が出席しま

した。文部科学省大学振興課の田頭吉一課長補佐より行政説明が行われた後、協議が行われました(議長: 静岡県立大学・柴田和彦事務局長)。

協議事項は以下のとおりです。

○改正労働契約法への対応について

○職員育成に関する課題について

(1) 新任職員向けの大学関係用語集の作成について

(2) 国際交流関係職員の研修プログラムについて

○協会事業への要望等について

(1) 学生の安否確認システムの共同での構築について

(2) 会費の見直しについて

○その他

(1) 教員の人事制度について

(2) 停職処分した教員の復職時の対応について

(以下、照会のみ)

(1) 外部研究費の間接経費について

(2) 留学生寮、学生寮について

(3) 教員の定数管理、採用について

## 改正労働契約法説明会

10月18日(木) 東京グランドホテル

平成 24 年 8 月 10 日に公布された「労働契約法の一部を改正する法律」について説明会を開催しました。

厚生労働省労働条件政策課の澁谷秀行課長補佐から、法制度の趣旨や

解釈に関し、大学特有の事情の検討状況をも踏まえて講演いただいた後、文部科学省大学振興課の中村明雄課長補佐にも登壇いただき、質疑応答を行いました。

本件については、会員校の関心も高く、協会でも情報収集及び提供を随時行っているところです。

## 入学者選抜実務担当者協議会

10月12日(金) メルパルク東京

平成 24 年度入学者選抜実務担当者協議会は、89名の出席のもと行われました。文部科学省・平野誠大学入試室長の講演に続き、静岡県立大学・嶋照生入試室長の議長進行で全体協議が行われました。その後のグループ協議では、担当者同士で情報交換ができ非常に有意義だったとの感想を終了後にいただきました。

○全体協議議題

(1) 入学後の成績追跡調査について

(議題提出: 群馬県立県民健康科学大学)

(2) 追加合格者の決定開始日の変更について

(議題提出: 埼玉県立大学)

## 平成 24 年度地区協議会が各地区で開催されました

平成 24 年度の地区協議会は、理事会提案議題「公立大学にふさわしい認証評価の在り方について」及び各大学からの提案議題についての協議のほか、研修会やシンポジウム等を併せて開催する地区もあるなど、それぞれに特徴のある協議会となりました。

### 各地区協議会の開催日程及び協議議題等（敬称略）

**【北海道・東北地区協議会】** 議長校：岩手県立大学  
9月13日（木）岩手県立大学

#### ○協議会

- ・大学職員の育成について
- ・県内就職について
- ・推薦入試の県内枠について
- ・教員評価制度について
- ・大学と地域の連携について
- ・第2次中期目標、中期計画について
- ・平成25～26年度の議長校選出方法について

#### ○公開フォーラム

「大学改革、教育改革の方向について」

**【関東・甲信越地区協議会】** 議長校：山梨県立大学  
9月21日（金）山梨県立大学

#### ○講演

「大学改革実行プランへの対応について」

講師：田頭吉一（文部科学省大学振興課課長補佐）  
・平成25～26年度の議長校選出方法について

**【東海・北陸地区協議会】** 議長校：金沢美術工芸大学  
9月28日（金）金沢美術工芸大学

#### ○講演

「文部科学省の新たな大学政策の展開について」

講師：田頭吉一（文部科学省大学振興課課長補佐）  
○協議会

・労働契約法の改正に伴う任期付教員の取扱への対応について

・教員の任期付採用について

・教員の授業担当科目数の設定について

・学生による「授業評価アンケート」の組織的活用について

・平成25～26年度の議長校選出方法について

○セミナー・研修会

「業務を効果的に継承する方法について～事例と学びの交流会とレクチャー～」

講師：春日井隆司（愛知県立大学 学術情報部長兼研究支援・地域連携課長）

**【近畿地区協議会】** 議長校：和歌山県立医科大学  
9月10日（月）ホテルグランヴィア和歌山

#### ○経営セミナー

講師：相宮秀紀氏（公認会計士）

#### ○講演

「公立大学法人の課題と新しい動き～法人化10年に向けて～」

講師：矢田俊文（公立大学協会相談役）

「大学改革実行プランについて」

講師：田頭吉一（文部科学省大学振興課課長補佐）

#### ○シンポジウム

「大学認証評価制度について～問題点とあるべき姿～」

#### ○協議会

・設置者等との関係について

・事務専門職員（非正規職員）の業務内容と勤務条件について

・来年度議長校について

**【中国・四国地区協議会】** 議長校：高知県立大学  
9月7日（金）高知県立大学

#### ○協議会

・教員の任期制と労働契約法の改正案について

・「大学改革実行プラン～社会の変革のエンジンとなる大学づくり～」への対応について

**【九州・沖縄地区協議会】** 議長校：長崎県立大学  
9月12日（水）長崎県立大学

#### ○協議会

・大学教育の質的転換について

・地域再生の核となる大学づくり（COC構想）について

・平成25～26年度の議長・副議長について

## 平成 24 年度公立大学会計セミナー

8.7-9 メルパルク東京

今年度の会計セミナーは、プレセミナー（初任者向け）95名、基礎編125名、応用編87名の参加がありました。

プレセミナーでは名古屋市立大学で会計実務を担当する内山達雄さんと中井淳子さんから、基礎編・応用編では公認会計士の先生方から、それぞれ説明をいただきました。

## ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ

9.12-14 八王子セミナーハウス

教員個人の活動・理念を明らかにし、自己省察を促す手法として用いられているティーチング・ポートフォリオの作成ワークショップを、本協会がFDの推進の一環として、初めて開催しました（参加者数6名）。2日半にわたり一つの作業に取り組むため、さながら合宿のような雰囲気でした。



## 公立大学協会の主な活動の記録

（H24.8.1～H24.12.31）役職名組織名は全て日付当時

### 8月

7日(火)～9日(木)★公立大学会計セミナー〔メルパルク東京〕

20日(月)★第1回UMAP日本国内委員会出席〔一橋講堂〕

21日(火)★就職問題懇談会(伊藤理事出席)〔文科省〕

22日(水)★第3回公立大学の質保証に関する特別委員会、第3回運営会議〔ホテルラフォーレ新大阪〕

23日(木)、24日(金)★SPODフォーラム参加〔徳島大学〕

25日(土)、26日(日)★高等教育質保証学会傍聴〔東京大学駒場キャンパス〕

28日(火)★中央教育審議会総会傍聴〔文科省〕

### 9月

7日(金)★中国・四国地区協議会〔高知県立大学〕

8日(土)、9日(日)★JUAM定期総会・研究会出席〔芝浦工業大学〕

10日(月)★近畿地区協議会〔ホテルグランヴィア和歌山〕

12日(水)★九州・沖縄地区協議会〔長崎県立大学〕

12日(水)～14日(金)★ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ〔八王子セミナーハウス〕

13日(木)★北海道・東北地区協議会〔岩手県立大学〕

14日(金)★外国語学・国際関係系部会出席〔愛知県立大学サテライトキャンパス〕

21日(金)★関東・甲信越地区協議会〔山梨県立大学〕

24日(月)★中央教育審議会教育振興基本計画部会ヒアリング(奥野会長出席)〔学士会館〕

28日(金)★東海・北陸地区協議会〔金沢美術工芸大学〕★第1回高大接続特別部会〔近藤副会長出席〕〔文科省〕

### 10月

10日(水)★第4回公立大学の質保証に関する特別委員会、第1回理事懇談会、第4回委員会〔合同会議〕〔メルパルク東京〕

11日(木)★第2回高等教育改革フォーラム・第1回副学長等協議会〔併会〕〔メルパルク東京〕

12日(金)★入学者選抜実務担当者協議会〔メルパルク東京〕

18日(木)★改正労働契約法説明会〔東京グランドホテル〕

29日(月)★大学分科会傍聴〔文科省〕

31日(水)★第2回高大接続特別部会〔近藤副会長出席〕〔文科省〕

### 11月

8日(木)、9日(金)★学長会議〔静岡県立大学〕

12日(月)★大学教育部会傍聴〔文科省〕

14日(水)★第3回大学ポートレート(仮称)準備委員会〔浅田副会長出席〕〔学術総合センター〕

21日(水)★第1回大学設置認可の在り方に関する検討会傍聴〔文科省〕

27日(火)★大学分科会傍聴〔文科省〕

30日(金)★第3回高大接続特別部会〔近藤副会長出席〕〔三田共用会議所〕

### 12月

6日(木)★事務局長等連絡協議会〔東京グランドホテル〕

7日(金)★第2回副学長等協議会、第3回高等教育改革フォーラム〔東京グランドホテル〕

17日(月)★第4回高大接続特別部会〔近藤副会長出席〕〔文科省〕

21日(金)★第3回大学設置認可の在り方に関する検討会傍聴〔文科省〕

27日(木)★大学教育部会傍聴〔文科省〕

### 事務局より

政権交代を経て、平成25年度予算案が確定し、地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)には23億円が計上されました。中教審は今年1月に第6期が終了し、今後、新しい委員により大学教育などが議論される予定です。